



▲ツインドーム重信での引退試合。力を出さなかった悔しさから涙があふれる



#3 ポスト

山本 愛莉さん
やまもと・えり (小野中出身)
①地道な努力、体を張って相手を止めるプレー②自分たちの代では良い結果を残せませんでした。辛いことも4人で乗り越えてきた、この経験をこれからは活かしたいです。



#4 逆45度

菊池 菜月さん
きくち・なつき (南第二中出身)
①スピード、持久力②試合で足を引っ張ったり部活を辞めたいと思うこともありましたが、総体がなくなって辛かったけど笑顔で部活を終えることができて幸せです。



Mg マネージャー

藤野 彩笑さん
ふじの・さえ (久谷中出身)
①試合前に全員に渡す手作りマスコット②人数は少なかったけど仲良く楽しく3年間部活動ができました。3人のマネージャーをできてよかったです。

この悔しさを忘れない
「未だに気持ちを切替えられないでいます。これで本当に引退なのかあって…」と率直に話してくれた林田瑞希さんがキャプテンを務める女子ハンドボール部。6月27日にツインドーム重信で引退試合を行いました。「満足な練習もできず挑んだ最後の試合。悔いが残りました。でも代わりの舞台を用意していただけたことに感謝しています」と悔しさをにじませながらも感謝の気持ちを話します。

見守ってきた家族
県総体が中止になり、シヨックを受けたのは3年生だけではありません。瑞希さんの母・フミさんは、「怪我で試合に出ることができないこともあったけど最後まで続けてくれたのは、ハンドボールが好きで勝ちたい気持ちが強かったから。最後の総体はできなかったけれど楽しいハンドボール生活を送れたと思うています」と一番近くで支えてきた親としての思いを話してくれました。

1_練習後の集合写真「たくさんのおかきで試合に出ることができました」と林田さん。/ 2_引退試合後、ともに頑張ってきた4人で記念撮影/ 3_後輩たちの練習の様子を優しく見守る/ 4_思いは次のキャプテンへ



背番号/ポジション/氏名(出身中)/①持ち味②コメント

特集 高校3年生 最後の夏



#2

正45度 キャプテン

林田 瑞希さん
はやしだ・みずき (重信中出身)
①チーム1の点取り屋②後輩たちには最後にかっこいい姿を見せられなかったですが、自分たちのように急にこんなことにならないために、普段の練習を大事にしてほしいです。

インターハイも史上初めての中止が決定した異例の事態。5月1日、愛媛県高校体育連盟が新型コロナウイルスの感染拡大を受け、第74回県高校総合体育大会の中止を決定しました。ひたむきに部活動に打ち込んできた高校3年生にとって思ってもみない夏。

集大成の最後の舞台を奪われた高校生たち。指導してきた顧問の先生。一番身近で見守ってきた家族。辛い気持ちは同じですがそれぞれがどう受け止め、前を向くことができたのか。

最後の夏を取材しました。

Last game day

胸に刻んだ最後の試合



▲ベンチから仲間を見守る真剣な眼差し



▲最後の打席。雲ひとつない晴天の中、バットから快音が響いた



▲試合中、伊藤先生から「笑顔を忘れず最後まで試合を楽しもう」とアドバイス



▲松山工業高校との試合後、重信中学校卒業のみんなで記念撮影



▲「不器用で泥臭いチーム。同じことを何度も繰り返し練習し染み込ませた」と伊藤先生

それでも前を向く
「覚悟はしていたがやっぱり悔しい。コロナで全て持っていかれた気がしました」と話すのは部員や先生からの信頼も厚い三好真寛さん。「でも自分たちだけじゃない。気持ちを切り替えないと。ここまでこれたのは支えてくれた保護者と先生のおかげです」と感謝の言葉が続きます。悔しくて諦めきれない心情とともに、置かれた状況を受け止めひたむきに前に進む姿勢がありました。

全員が「いつまで続くのか」という不安を抱える我慢のとき。彼らに負けないように前を向いていきましょう。

中学時代に交わした約束
「ホームランを打ってやる」



上田 峻太郎 さん
うへだ・しゅんたろう (重信中出身) | 中堅手

①身体能力抜群・ムードメーカー②別々の高校に進むことが決まっていた松工のピッチャー八木くんからホームランを打つと約束しました。県総体が中止になり、一度は諦めていましたが、たくさんの人たちのおかげで松工と対戦することができ、自分の全てをぶつけることができました。

先生が自分を見つけてくれた
長年チームの柱として活躍



磯金 ヒロト さん
いそかね・ひろと (重信中出身) | 遊撃手

①圧倒的な技術、オールラウンダー②1年からレギュラーとして試合に出させてもらってきましたが、それは伊藤先生が自分を見つけてくれたおかげです。これからはソフトボールを続けていくうえで、伊藤先生から学んだことを活かしていきたいです。

ライバルは世界1のピッチャー

待ち望んだ対戦

7月19日、伊予銀行体育センターでの引退交流試合に挑んだ男子ソフトボール部。最後の試合の対戦相手は松山工業高校。男子ソフトボールU18ワールドカップで日本代表として活躍した八木孔輝さんら重信中学校の卒業生が多く在籍しています。待ち望んでいた対戦に、真剣勝負の中でも笑みがこぼれました。

この経験を、チャンスに

東温高校男子ソフトボール部顧問・伊藤圭一先生は「これからの人生、いろいろなチャンスがある。こういう経験をしたからこそ一つひとつのチャンスを大切にできるはず。逆に今まで誰も経験してない悔しい思いをした稀な世代として頑張っしてほしいですね」と3年生たちにエールを送ります。



世界1のピッチャーと
投げ合えることに感謝したい



高須賀 京 さん
たかすか・きょう (重信中出身) | 投手

①エースで4番、大黒柱②松山工業高校の八木くんは重信中学校時代のチームメイト。県総体がなくなったのは悔しいですが、引退交流試合を用意してもらって世界1のピッチャーと試合ができるのが何より嬉しい。全力を尽くしていきます。

悔しい思いは人一倍
一つひとつの勝負に粘り強く



三好 真寛 さん
みよし・まさひろ (重信中出身) | 捕手

①信頼感、努力②高校に入ってからソフトボールの技術だけでなく人間的な部分も学べたと思うので、今後活かしていきたいです。ソフトボールは勝負の世界。後輩たちには、一つひとつの勝負に粘り強く、しっかり勝ってほしいと思います。

憧れの先輩を追いかけ東温に
支えてくれた方に感謝



武智 雄大 さん
たけち・ゆうだい (久谷中出身) | 三塁手
キャプテン

①向上心、素直②中学時代まで野球をしていましたが、憧れの先輩を追いかけて東温高校に入学しました。最後の大会に向けて今まで支えてくれた皆さんに感謝しながらやりきりたいです。新チームになったら自分たちよりも更に強いチームになってほしいです。